

緑と清流のまち

わかさ 議会だより

第166号
平成31年
2月号
WAKASA TOWN



議会事務局のアドレスへ

がんばれ新成人!



- P2~3 H30年度補正予算
- P4~5 審議結果・議会の動き
- P6~7 討論
- P8~11 一般質問
- P12~13 議会報告会のまとめ
- P14~15 委員会活動報告
- P16 わたしの想い(福井さん)

若桜町成人式

会計補正予算(第8号)

増額補正

総額

44億

3100万円

平成29年度決算(予算現額)
38億6181万円



藤原みそこうじ店の商品

商工振興事業

若桜町創業・開業事業補助金を
増額するもの

100万円

- 事業者を
1件追加し、2件となった。
- ・藤原みそこうじ店
 - ・ほっこいよもぎ家 kizuku

な 業



若桜小学校線

町道補修事業

若桜小学校線ほか工事請負費を
増額するもの

301万円



ドライブレコーダー(イメージ)

庁舎等財産管理費

公用車にドライブレコーダーを設置するもの

65万円

12月定例会

(平成30年12月10日～13日)

平成30年度 一般

2030万円

注目事業は これだ!

シーズン中
プール利用券・
生徒手帳の提示で無料



保健体育総務費

わかさ学園の児童・生徒のリフト代を
全額助成するもの

35万円



特産品開発支援事業

労務に係る補助単価の増額によるもの

84万円



がんばる地域プラン事業

エゴマ栽培に係る労務軽減の為
機械を導入するもの

1061万円

主事

一目でわかる 審議結果

第8回議会臨時会 11月14日

補正予算	平成30年度若桜町一般会計補正予算（第6号）	可決
	620万円追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、44億470万円とした。	

第9回議会臨時会 11月26日

補正予算	平成30年度若桜町一般会計補正予算（第7号）	可決
	600万円追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、44億1070万円とした。	
	平成30年度若桜町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決
	予算の組替えをした。	
	平成30年度若桜町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	可決
	3万円追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、2億12万円とした。	
	平成30年度若桜町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
	3万円追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、1億8942万円とした。	
	平成30年度若桜町索道事業特別会計補正予算（第3号）	可決
	416万円追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、3391万円とした。	
その他	工事請負契約の締結について	可決
	工 事 名 わかさ氷ノ山スキー場管理棟等改築工事 契約の相手方 こおげ建設株式会社 契 約 金 額 変更前 1億6450万5600円 変更後 1億7070万4800円	

第10回12月議会定例会 12月10日～13日

補正予算	平成30年度若桜町一般会計補正予算（第8号）	可決
	2030万円追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、44億3100万円とした。	
	平成30年度若桜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
	823万円追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、4億6858万円とした。	
	平成30年度若桜町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	可決
	140万円追加し、歳入歳出予算をそれぞれ、6億8899万円とした。	
	平成30年度若桜町簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）	可決
	131万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、2億143万円とした。	
条 例	若桜町伝統的建造物群保存地区保存条例の制定について	可決
	都市計画に定める伝統的建造物群保存地区に関し、その保存のために必要な措置を定めるもの。	
	特別職の職員等で非常勤のもの給与に関する条例の一部改正について	可決
	若桜町伝統的建造物群保存地区保存条例の制定による、若桜町伝統的建造物群保存地区保存審議会設置に伴い、当該審議会委員の給与を追加するもの。	
	若桜町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決
	一般職の国家公務員の給与改定に準じて、特別職の国家公務員の給与の額が改定されることに伴い所要の改正を行うもの。	
	若桜町職員の給与に関する条例の一部改正について	可決
	平成30年人事院勧告に準じて、月例給並びに期末、勤勉手当、宿日直手当に係る部分について所要の改正を行うもの。	
	若桜町税条例の一部改正について	可決
	控除対象特定非営利活動法人を追加し、条例の一部改正を行うもの。	
若桜町使用料徴収条例の一部改正について	可決	
若桜町営スキー場管理棟を取り壊し、わかさ氷ノ山インフォメーションセンターを新築したことにより、行政財産の名称を変更するとともに、使用料についても改正を行うもの。		
若桜町立中学校等設置条例の一部改正について	可決	
若桜学園小学校菰米分校を廃校とすることに伴い、改正を行うもの。		
若桜町索道事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決	
樹氷スノーピア休憩棟を取り壊し、わかさ氷ノ山インフォメーションセンターを新設したため、条例の一部改正するもの。		
若桜町営スキー場施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決	
樹氷スノーピア管理棟を取り壊し、新たな施設を設置したため、所要の改正を行うもの。		

その他	鳥取県町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更について 鳥取県町村総合事務組合に、南部箕蚊屋広域連合及び日野病院組合を加入させるため、鳥取県町村総合事務組合規約を変更するもの。		可決
	若桜町教育委員会の委員の任命について 若桜町教育委員会委員に、福田浩子さんを任命するもの。		同意
陳情	「安倍内閣の退陣を求める世界平和7人委員会のアピール」を支持する意見書提出に関する陳情 危機的な政治・社会状況を許してきたことへの反省を込めて安倍内閣の即時退陣を求めるもの。	委員会審査結果 不採択	不採択
	野外ステージ設置に関する陳情書 中之島公園芝生広場に、文化系公共施設の充実を図るための屋根付き屋外ステージ設置について。	委員会審査結果 採択	採択
	豪雨対策、砂防ダムに関する陳情書 杉の谷、栃原川谷（神社谷）の土石流対策。砂防ダム新設又は砂防ダム浚渫（しゅんせつ）工事について。	委員会審査結果 採択	採択
	待機児童解消、保育士等の処遇改善、保育無料化のための必要な措置を求める意見書の提出を求める陳情書 待機児童、保育士不足解消などの保育・子育て環境整備について。	委員会審査結果 採択	採択
議員提出議案	若桜町議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について 期末手当の支給月数を0.05月引き上げるもの。		可決
	若桜町議会傍聴規則の一部改正について 個人情報保護の観点から、現行の傍聴人受付簿から受付票に改めるもの。		可決
	若桜町議会事務局設置規則の一部改正について 議会事務局に、置くことのできる書記の職等を現状に合わせるもの。		可決
	待機児童解消、保育士等の処遇改善、保育無料化のための必要な措置を求める意見書		可決
	若桜町議会基本条例の一部改正について 多様化する町の情勢を把握し、政策を一つにするもの同士が、集まることにより個々の議員力を高め、町民の負託に応えるために会派制度を導入するもの。		可決

議会の動き

特別委員会を設置

- 若桜宿町並み整備調査特別委員会 委員長：山本晴隆 副委員長：梶原 明
 - 設置に至る経緯：若桜宿に活力を取り戻す方策として、駅周辺施設改修や仮屋の町並み復元などの「若桜宿未来ビジョン（仮称）」の概要説明が町長から提案され、重要案件と判断して設置した。
- 議会改革調査特別委員会 委員長：川上 守 副委員長：前住孝行
 - 設置に至る経緯：議会報告会での参加者の増加と、より活発な議員活動をおこなうことを目的に設置した。

若桜町議会基本条例の一部改正について (P 7の討論をご覧ください)

- 会派制度導入に至る経緯：経験豊かな首長機関に対し、行政経験の少ない議員が、一議員では十分な対峙は困難である。政策を一つとするもの同士の集合体として会派導入の必要性を考える。

* 議会基本条例・・・ [若桜町議会基本条例](#)

一般質問録画中継試行中

- ライブ中継に加え、定例会後も一般質問の様子が視聴できます。

どこで・・・ [若桜町議会録画放送](#)

期間は…定例会閉会后、概ね2週間後から、会議録をホームページに掲載するまでの約3か月間



賛否の分かれた議案

第9回議会臨時会 11月26日

補正予算

氏名	梶原明	君野弘明	青木一憲	山根政彦	山本安雄	小林誠	山本晴隆	中尾理明	前住孝行	結果
平成30年度若桜町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	×	○	○	×	○	可決

原案反対 中尾理明議員

議員の期末手当は、一昨年0.3か月、昨年0.05か月、今回0.05か月とこれで3年連続引き上げになり、年間の議員報酬総額の引き上げに繋がります。町民の暮らしが大変な中、この補正予算に反対します。

原案賛成 前住孝行議員

平成29年度の議会関連会議状況の集計された冊子を見ると、若桜町議会の議会・委員会等の会議回数は、県内の町村に比べても断トツに多い開催状況だった。こうして議会改革を進めてきている状況であるので、賛成します。

第10回12月議会定例会 12月10日～13日

陳情

氏名	梶原明	君野弘明	青木一憲	山根政彦	山本安雄	小林誠	山本晴隆	中尾理明	前住孝行	結果
「安倍内閣の退陣を求める世界平和7人委員会のアピール」を支持する意見書提出に関する陳情	×	×	×	×	×	×	×	○	×	不採択

原案反対 前住孝行議員

意見書の趣旨に賛同する部分はあるが、総裁選挙も終わったばかりで、若桜町議会として意見書を提出してどうなる訳ではないと考えるので反対します。

原案賛成 中尾理明議員

安倍内閣は、今臨時国会でも与党が認めたように、首相の外遊に合わせ入管法改正を強行するなど暴挙を重ねた。ウソとゴマカシ、国民不在の安倍内閣にこれ以上、国政を託すことはできない。退陣を求めるアピールを支持します。

議員提出議案

氏名	梶原明	君野弘明	青木一憲	山根政彦	山本安雄	小林誠	山本晴隆	中尾理明	前住孝行	結果
若桜町議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	×	○	○	×	○	○	×	○	可決

原案反対 中尾理明議員

期末手当引き上げは、年間の議員報酬総額の引き上げとなる。報酬は労働の対価ではなくその多少は言えない。来年実施の消費税増税などにより、暮らしの大変な町民の立場に立ち「改正」に反対します。

議員提出議案

氏名	梶原明	君野弘明	青木一憲	山根政彦	山本安雄	小林誠	山本晴隆	中尾理明	前住孝行	結果
若桜町議会基本条例の一部改正について	○	×	○	○	×	○	○	×	×	可決

原案反対 中尾理明議員

会派結成は、議会が総力で町づくりに取り組もうとしている時、自由な論議、合意づくりに足かせとなる。本議案は、会派問題小委員会で第1回の協議を行い、次回予定も決めていた矢先の頭越しのもので、遺憾であり反対します。

原案賛成 山根政彦議員

条例の一部改正は、議員活動をするための新たな手法であり、すべての議員にその権利を与えるものであると思います。よって、本議案に賛成します。

原案反対 前住孝行議員

会派導入は、各政党支部内での活動が不十分であると言っていることになる。考えが同じ者の集まりは、反対意見が出ない。デメリットを考えながらの事業実施でないと課題が山積するため反対します。

原案賛成 梶原明議員

会派制度は、個々の議員に許された権利であり、若桜町をさらに良くするためにも、個々の議員資質を高めるため、必要で有ると考え賛成します。

原案反対 山本安雄議員

議会基本条例の第10条では、「合意形成を得るため、政策討論会を開催する。」と定めている。又、議員全員で「議会改革調査特別委員会」を設置した今、会派制度の導入に関し、条例の一部改正は時期尚早であるので反対します。

原案賛成 山本晴隆議員

会派を作ることは、町政を改革するためには必要なことであり、個人の知恵や能力には限界があるため、個々の意見をまとめて1つの目標に向かって努力することが、大変重要であるため賛成します。

詳しくは

若桜町ホームページ→各課のご案内→議会事務局→会議録

12月議会定例会の一般質問は、12月11日に行われ、4人の議員が町政の課題について質問しました。

質問の要旨と町長と教育長の答弁は、質問した議員が要約して掲載しています。



質問者

中尾 理明 議員
山根 政彦 議員
前住 孝行 議員
山本 晴隆 議員

住宅リフォーム助成

町民要求に応え、今年度
補正予算で対応すべき
年度末も近い、新年度事業
で取り組みたい



中尾 理明 議員

Q 今年度500万円組まれた住宅リフォーム助成は、申込者多数により抽選で行われた。落選された方、抽選の予定を知らず受けられなかった方には不公平感がある。私が参加した議会報告会でも、3人以上の方から質問、要望がありました。本年度中に補正予算を組むべきではないですか。

Q 臨時国会で、補正予算が決定し、小中学校などのエアコン設置とブロック塀対策の予

学園体育館へ
エアコン設置
国補正予算で学
園体育館設置を
今後避難所とし
ての整備を協議

A (町長) 本年度は500万円の予算額に對して62件、約1,020万円の申し込みがありました。本年度を除く過去3年間の実績では、161件で約2,500万円の補助金を交付しており、多くの潜在需要があると認識しています。新年度事業として、是非取り組みたいと思います。

A (教育長) 若桜学園では、今年夏までに普通教室や特別教室にエアコンを設置したのは、熱中症予防や学習意欲の低下防止のため整備を行ったものです。しかし、体育館は夏期の体育の授業や部活動などでの使用は少なく、部活中は窓やドアを開けての換気と大型の扇

算化もされました。若桜学園では、町予算で今年度までに全教室にエアコンが設置され、この夏から子どもたちが、快適な環境の中で学ぶことが出来ましたが、この補正予算によるエアコン設置は、体育館も対象となっておりません。設置に当たっては、国庫補助と共に有利な地方債が使えます。このたびの予算を生かし、体育館にエアコンを設置すべきではないですか。



若桜学園体育館

風機で対応し、生徒の体調管理を行っていただきます。また、冷暖房設備のあるさくらホールを卓球部の部活動など多目的に利用しています。空調設備は電気代など維持費も大変ですので、体育館の補正予算による対応は考えていません。しかし、体育館は災害時の避難所となっ

ているので、その役割を果たすために整備することは今後の課題であり、防災担当課と十分協議、検討することが必要だと思います。〈この他に「7月豪雨など災害復旧について」を質問しました。〉

Q 一般質問 A



山根 政彦 議員

若桜宿未来ビジョン(仮称)

どのような方向性で事業化していくのか
町民との対話を活性化させ
一緒に考え進みたい

Q 総合計画・過疎計画・総合戦略との整合性をふまえ、これからのようなスケジュールで、どのような方向性で事業化していくのか伺います。

A (町長) 来年度には、若桜宿未来ビジョンをもとに町づくりについて、協議、検討、意見交換会を行う懇話

会のような組織を立ち上げ、町民参加型ワークショップや講演会の開催なども含め、民意の反映を図っていききたいと考えています。

Q 既存施設の「かりや横丁」・「チャレンジショップ」・「迎賓館」は、現在利用頻度が少なく、活用方法を変える必要があると思うが、所見を伺います。

A (町長) 「かりや横丁」・「チャレンジショップ」の事業主体は、現在商工会の方で行っていますが、出店しやすい条件や仕組みを变える必要があると考えています。また迎賓館は、

できる限り町民の皆さんにご利用いただける方法を検討していきたいと思っています。

Q 若桜宿の観光地化を進めるうえで、核となるのが若桜鉄道だと思っています。特に、SL営業運行は、大きな力を発揮すると思います。関係市町との協議の状況を伺います。

A (町長) まず協議会を立ち上げ、1市2町と県、沿線住民、JR関係者等で十分協議、研究を進めていききたいと思っています。



駅前周辺

農業振興

核となる組織が必要
関係者と話し合い考えたい

Q 「若桜町米乾燥・精米調整施設」は、生産効率を高め、生産意欲を持続させる施設であると考えられているが、来年度には整備され運営されるのか伺います。

A (町長) 若桜町独自ブランドで販路の開拓など、若桜町産米の競争力の強化を図る必要があると考えています。今後の施設の運営、また乾燥精米処理した米の直販等について関係者と調整をしながら、来年度の町営乾燥調整精米施設の整備を行いたいと思います。

が必要と考えます。現在の有限会社若桜農林振興を生産法人に変え、生産から販売まで行い農業総合ビジネスを確立することにより、若桜の農業を力強く守っていきけると思いますが、所見を伺います。

A (町長) 若桜農林振興に求める部分、担っていただきたい部分は大変大きく、今後関係機関との協議や助言をいただきながら、若桜の農業を守っていききたいと考えています。
〈この他に「若者の定住について」「若者住宅整備」「国道29号線の改良要望」を質問しました。〉

Q 若桜の農業を守り、活性化に繋げていくためには、核となる組織

質問 A

地方創生

基本・数値目標と現状の比較から更なる取り組みを人口減少に歯止めがかからないので、改善が必要



前任 孝行 議員

Q 若桜町総合戦略概要版に、「若桜町地方創生検討委員会等の意見を踏まえつつ、若桜町地方創生総合戦略本部を中心として効果検証を行い」との記述があります。平成27年度から今日まで、年に何回検討委員会、本部会議を開催されたのかお尋ねします。

A (町長) 若桜町地方創生検討委員会については、毎年開催しており、今日までに計10回開催しています。本部会議については、平成27年度以降計6回開催しています。

Q 検討委員会では、それぞれの数値を報告して、全体での意見を聞いたと伺っています。そういった方法で意見が集約できるのか、その方法が適正であったか、お尋ねします。

A (町長) KPI(重要業績評価指数)設定に向けて、どういう事業を取り組んだかを報告しています。ただ、

皆さんが、いろんな意見をお持ちだと思えますので、そういうことが聞けるような開催方法も考えていく必要があると思います。

Q 29年度決算を終えて、地方創生中間年の結果が出ています。どのように分析をされているのか、町長の所見を伺います。

A (町長) 目標のKPI達成のいかんに関わらず、依然として本町の人口減少に歯止めがかかっていない現状から事業面でさらなる工夫、改善が必要であると認識しています。

Q 私が一番気にしているのは、基本目標及び数値目標に掲げている「出生数が5年間で64名」、「IJUターナー数が5年間で70名」という目標です。目標

と現状を比べられて、どのように考えていますか。

A (町長) この0歳から14歳の出生数というKPI設定が、31年度に227人という目標値を上げているのですが、平成29年度の達成率は、マイナス17人になっていきます。これを何とか上げていくことが必要だと思っています。

Q 総務産業常任委員会視察で邑南町へ伺い、そこは「子育て」と、「A級グルメ」のまちづくりで進められています。本町も良い農産品がたくさんあります。「肉」に特化した取り組みも一つの方法だと思えます。1つの軸があればそこに地元の野菜、また夏イチゴ、米、お酒などの組み合わせも考えられますが、町

長の考えをお尋ねします。

A (町長) 商工会も、一生懸命特産品開発に力を入れていきますので、肉も含め若桜町の特産品をもっと全面的に表に出して、東京、大阪で売っていきたいと思います。



ヤマメをほおぼるこども園園児

般



山本 晴隆 議員

防災について 防災無線・IP告知端末 の再調査は 解決に向けて早期に取り 組みたい

Q 防災無線の難聴地域の調査や調整等をされていますが、IP告知端末機を含めて、町内全域を調査する必要がありますと考えますが。

A (町長) 難聴地域の問題は、現在も調査中です。防災上必要不可欠な施設であり、解決に向けて対応したいと思えます。所有端末

の故障対処法を広く周知し、利用や受信に支障がないよう対処を考えています。

Q IP告知端末機に役場、公共施設、避難所等、緊急時に必要な電話番号の登録は、可能なのか伺います。

A (町長) 登録方法として、「暮らしの便利情報」に役場が、主要施設の電話番号を登録して、その電話番号とリンクさせたボタンの設置は出来ます。緊急時に活用しやすいよう進めたいと考えています。

整して、防災専門員、集落担当職員から指導助言をしていただき、自主防災組織が結成されることにより、集落で防災時の対応行動や必要な物資がよく分り、災害時に最善の準備ができるかと考えますが。

A (町長) 今後自助、共助、公助を高めるため防災専門員、消防団長、分団長の協力を頂きながら説明会を開催して、集落の実態にあった、災害発生時の避難準備や行動などの指導助言を行い、自主防災組織の結成を進めたいと考えています。

来ると考えますが。
A (町長) 防災備蓄品は孤立しそうな集落や備蓄倉庫から離れた避難所等に配布しました。今後は土嚢を主要箇所へ配備して、災害時に行う手順や必要最小限の物資を入れる災害ボックスが必要と感じているので、随時、配備したいと思えます。各集落の公民館等に備蓄品の分散は、協議をしながら早期に実現したいと考えています。

Q 若桜町消防団第3分団のポンプ車格納庫は、緊急車両の車庫の立地としてはふさわしくないと考えます。別な場所に建替を提案しますが。

A (町長) 別の場所への建替は、現在は考えていないが、拡幅工事やバイパス工事が終



IP告知端末機

地域おこし協力隊
吉川YYCに
配属を
人材確保に努
めたい

Q 地域おこし協力隊を吉川YYCに配属させることに、矢部町長も引き続き進めて行くのか、伺います。

A (町長) 引き続き積極的に取り組んでいきたいと考えていますが、現時点では応募者がありません。ぜひ、人材確保に努めたいと考えています。

のまとめ (要約)

の農林業・高齢化に伴う空き家対策をテーマに開催
れらの意見を協議・集約し議会報告会のまとめとし

てまいります。

意見交換

■ 迎賓館について

- 利用しにくい状況の上に管理費も掛かかるため、今後の対策を考えるべき。修理にかけた多額の経費に見合う費用対効果を期待している。

■ 防災関係

- 災害のあった今年、町全体での防災訓練をあえてすべきではなかったか。また、自治会長を集めて防災に関する意見交換会をするべきである。
- テレビの他、必要なものが揃っているのが避難所ではないか。また、しっかりとしたマニュアルを作るべき。
- 避難を呼びかけるだけで良いのか。非常時のことは机上でなく実践で行って欲しい。

■ 旧山根製材跡地について

- 何を目的に購入されたのか。将来を見越した考えで利用して頂きたい。

■ 駅裏の埋め立て測量について

- 測量を行ったと聞いているが、実現するのか。

■ 職員への指導について

- 職員の指導を徹底して欲しい。

■ 病院、医院の存続について

- 存続の為の対策を早めに行う必要がある。



議会報告会の様子

平成30年度 議会報告会

平成30年度第9回議会報告会は、公共交通・将来し、住民の方から多くの意見をいただきました。そこで、町長に提出しました。

この意見を町政に生かせるよう、議会として努め

テーマに沿った意見交換

■ 公共交通について

- 町内を走るコミュニティバスやコミュニティタクシーといったドアtoドアに近い形で、若桜町の実状に即した新交通システムの構築が必要と考える。
- 町外に出る際や緊急時の移動手段としてタクシーの運行が必要と考える方が多く、再考すべき。

■ 将来の農林業について

- 若桜町の農地をどう保全するのか、どういう形が望ましいのかを真剣に議論し、考える必要があり、(有)若桜農林振興は、収穫から販売までを一括して行える組織として相応しいと考えており、また、町のビジョンに本気で取り組むためにも生産法人にすることが必要であり急務と考える。さらに、荒廃農地が年々増える中、それらの担い手としても必要な組織であり、生産効率の悪い場所に対しては補助も含めて考えるべき。
- 道の駅を主体とした6次産業的な考えを議会としても以前から強く言ってきた。徳島県上勝町・島根県邑南町のように、高齢者が元気で町のために頑張れるしかけづくりが重要と考える。
- 豪雨による災害が近年増えている。高齢化や人手不足により、河川から農地への用水の引き込みが困難になってきており、本年の7月豪雨により被災した小規模災害の復旧に伴う補助金の補助率は今回の災害に限定して80%となっているが、農地を守る観点からも、この補助率を今後も維持するなどの方策が必要である。

■ 高齢化に伴う空き家対策について

- 空き家が年々増加している。集落によっては、空き家などの家屋が長年放置され、倒壊などの危険性があり周囲に悪影響を与えかねない状況も出ており、空き家放置は所有者個人の問題だけでなく、地域の方の不安を取り除くためにも、特定空き家の調査をはじめ、解体費用の助成も含めた方策を考える時期にきている。

■ 買い物支援について

- 買い物に困難をきたしている高齢者等の利便性を図るため、現在、JAが移動販売車による販売をしているが、品数が少ない、欲しい生活用品がないなど利用しにくい状況である。車両の大型化、FAXなどでの注文が可能なシステム作りなどにより、利用しやすい環境整備を行政としても考える必要がある。
- 公共交通にも関わるが、買い物バスの運行も一つの手段であるとする。

活動報告

総務産業常任委員会

予算の執行状況と所管する事業の進捗状況ならびに今後の課題について

ふるさと創生課 12月4日

若桜鉄道対策事業

【説明】

- ・利用促進・観光客誘致・地域活性化に向けて若桜鉄道と八頭町との協議、連携、合意の上で取り組みを行っていくことが重要であり、関係機関と協議をしながら進めている。

【意見】

- ・県議会や市議会の一般質問で、SLの走行について様々な反響が出ている。さらに関係機関との、協議を進めるべきである。また、八東駅の行き違い施設については、少しでも早く出来る方法を見つけて頂きたい。



行き違い施設工事中の八東駅

にぎわい創出課 12月4日

氷ノ山集客促進事業



氷ノ山インフォメーションセンターキッズルーム

【説明】

- ・指定管理委託料、氷太くん裏法面測量等業務委託、管理棟改築工事（氷ノ山インフォメーションセンター）等の予算約2億4405万円に対し執行額は、約4741万円であるが、全体的には事業の達成は出来る予定。

【意見】

- ・氷ノ山スキー場の管理運営には、今後多くの費用が予想される。経費を抑える工夫を検討して頂きたい。
- ※氷ノ山インフォメーションセンターは12月7日に竣工しました。事業費予算1億8081万円

教育民生常任委員会

所管施設の調査

農林建設課 11月13日

町営住宅（若葉団地）

【説明】

- ・ 5月31日に2棟4戸完成。入居の公募は10月に行い、入居は1戸だったので再公募を行う。

【意見】

- ・ 完成した時点で入居の公募をすべき。
- ・ 鳥が巣をしているなど、管理状態が悪い。
- ・ 駐車スペースの見直しが必要。
- ・ 外回りの表面排水マスが、表土より高いので機能していない。
- ・ トイレが引き戸になっていないなど障がいのある方への配慮も考えてほしかった。



町営住宅排水マス

若桜町エゴマ搾油加工施設

【説明】

- ・ 稼働については、調整中。

【意見】

- ・ 作業する方、手順の工程などは出来ているのか。

【回答】

- ・ 委託は、農林振興を考えている。作業手順、スケジュール、委託を早急に行い、年内には搾れるようにしたい。二人では回らないので、地域おこし協力隊を募集し、農林振興で働いてもらえるように考えている。農業になじんでもらい、定着してもらえる形をとりたい。

【意見】

- ・ 施設管理・運用の計画書を出すべきである。
- ・ 地域おこし協力隊の採用にあたっては、調査研究で報告した上勝町のように、逆指名で派遣してもらうなどの方法もある。
- ・ エゴマの元の単価が大事であり、高いのか安いのかまずは市場調査が先。若桜のエゴマは質が良いので、自信を持って思い切った単価設定も必要である。



若桜町エゴマ搾油加工施設調査の様子

町民福祉課・農林建設課・教育委員会事務局の予算執行状況について 11月4、5日

- ・ 全体的に、予定どおりの予算執行をしていた。今後も注視していきたい。

わたしの想い

このコーナーでは、町民の皆さんからの御要望や率直なご意見を紹介いたします。



四季を感じる

福井 久登さん
(中 町)

一昨年の3月に、大阪から若桜町へ移住し早くも約2年が経ちます。大阪での暮らしと真逆の生活ですが、春夏秋冬と過ごし、地域の方々に支えていただきながら楽しく生活しています。

季節ごとにたくさんの発見や体験が出来、私は特にウインタースポーツが楽しみの1つです。積雪時には、雪かきが大変と聞いていたので少し不安でしたが、回数を重ねることに慣れていき、雪かき自体が冬を感じられる1つでもあります。

私は、若桜町の中町に移住してきました。1年を通して、青壮年の会などたくさんの催し物に参加しています。その際も、季節に合わせた料理やイベントを考えていただいています。最近では、年末にそば打ち体験をし、自分で作ったそばを美味しくいただきました。都会では感じられなかった、地域の方との交流や季節ごとのイベントをたくさん感じ経験することができています。

若桜町に移住してまだ2年ですが、少しずつ地域に慣れていき、もっと馴染んでいける様にたくさんの方との交流を深め毎日を楽しんで過ごしていきたいと思えます。

表紙の写真をお寄せください

メール gikai@town.wakasa.tottori.jp

FAX 0858(82)2222

あしがき

年末から年始にかけて雪が積もり、スキー場を持つ我が町にとっては大変嬉しく、多くのスキー客が訪れひと安心しています。

議会だより調査特別委員会も新メンバーになり、約一年が経過します。より分かりやすく、読みやすい広報誌になるよう工夫し編集しています。

毎回表紙の写真に苦労しています。良い写真があればお寄せいただければと思います。皆様のご協力をお願いいたします。

読後の感想、ご意見をお聞かせください。

(記 青木一憲)

議会だより調査特別委員会

委員長 梶原 明

副委員長 君野 弘明

委員 山本 安雄

委員 青木 一憲

議長 川上 守